

『電気の史料館』夏休み展の展示概要

【概 要】

今回の夏休み展では、録音・再生技術の歴史を学べる展示を行うとともに、子供たちが体感的に音の原理や仕組みをご理解いただけるよう、テーマに合わせたサイエンスショーや工作教室も開催いたします。

さらに、展示内容と連動した「ワークブック（記入式小冊子）」も配布いたしますので、夏休みの「自由研究」などにお役立ていただくことができます。

【展 示】

コーナー1:音って何?

音の正体が波であることをご理解いただけるよう、「音叉と水による波紋の観察装置」や「音によって振動する粒状発砲スチロールを観察する道具」、「約 100mの塩ビ管を用いた声の伝達の遅れを体験できる装置（伝声管）」などの体験装置や解説パネルにより、音の原理を体感的に学ぶことができるコーナーです。

コーナー2：録音・再生のはじまり

録音・再生の歴史のはじまりとして、エジソンたちにより発明・開発された「蓄音機」を紹介致します。本物の蓄音機と解説パネルなどにより、蓄音機の構造や仕組み、その発明や開発に関わった人物について学ぶことができるコーナーです。

コーナー3：音と電気の出会い

録音・再生の技術は、電気技術と出会うことによって、大きく発展を遂げました。マイクロフォンの登場により電気録音が始まり、磁気録音を経て、現在の光学的あるいは電子的な録音方法に至った歴史を、カセットテープやコンパクトディスク（CD）、MP3プレーヤーなどの実物史料と解説パネルなどにより、ご紹介いたします。

コーナー4：音を楽しむサウンド・パーク

心地よい音である「1/f ゆらぎ（規則性と不規則性がほどよく調和した揺れ）」について、試聴装置や解説パネルを用いてご紹介いたします。心地よい音を体感することにより、先人たちの努力とチャレンジ精神による技術の発展によって、現在の音響環境が成り立っていることを感じていただけるコーナーです。

蓄音機生演奏

実際に、約 100 年前の蓄音機を演奏し、その音色を体感していただきます。これにより、先人たちの努力のすばらしさや、現在との比較による技術進歩の大切さなどを感じていただきたいと思います。

尚、演奏は、1日3回（11:30～、14:00～、15:00～）となっております。

## 【イベント】

小学校4年生から中学生までを対象とした「サイエンスショー」や「工作教室」を開催いたします。

開催日	内容	定員	参加費
8 / 6(日)	サイエンスショー「音の不思議」 (音に関する実験の実演ショー)	150名	無料
8 / 13(日)	工作教室「手作りFMラジオ」	30名	1,000円
8 / 19(土) 8 / 20(日)	工作教室「紙コップスピーカーを作ろう」	両日とも 40名	500円

対象：小学校4年生から中学生までとさせていただきます。

時間：各イベントとも13:30から90分程度となります。

申し込み方法：各イベントとも、「電気の史料館」へ電話(045-613-2400)にてお申し込みください。ただし、定員を超えた時点で締め切らせていただきます。

以 上